

プレスリリース



独立行政法人
海洋研究開発機構

2015年 3月 23日
独立行政法人海洋研究開発機構

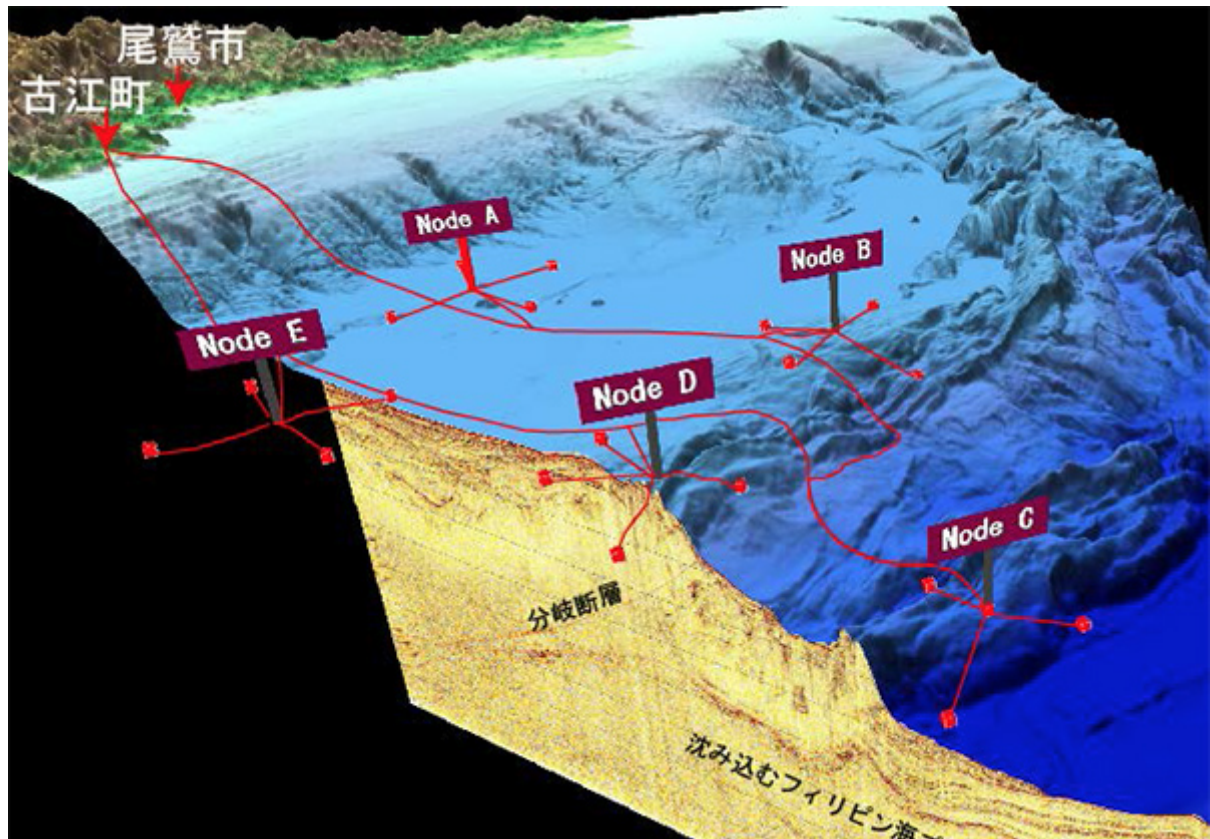
地震・津波観測監視システム（DONET）に発生している 一部欠測の復旧作業について

独立行政法人海洋研究開発機構が紀伊半島沖に設置している地震・津波観測監視システム（DONET）については、平成26年5月30日に障害が発生し、現在、20観測点のうち16地点での観測を行っている状態です。

その後の調査により、当該4地点が接続されているEノード（図参照）に障害が発生していることが確認されたため、Eノードを回収し障害発生箇所の修理を行ってまいりました。

今般、機器の修理が完了しましたので、明日3月24日にEノードの復旧作業を実施いたします。

なお、復旧作業に伴い、作業当日の9時から24時までの間、データの配信が停止いたします。復旧作業および配信停止時間については、天候等により延期・変更となる可能性がありますので、その際には、当機構ホームページにて周知いたします。



«紀伊半島沖に設置しているDONET 展開図»
今回、拡張用分岐装置（ノードE）の復旧作業を実施します。

お問い合わせ先:

独立行政法人海洋研究開発機構

（本内容について）

地震津波海域観測研究開発センター 企画調整グループ グループリーダー 満澤 巨彦

（報道担当）

広報部 報道課長 菊地 一成